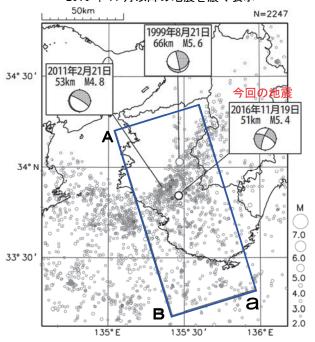
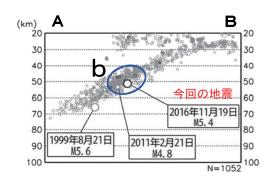
11月19日 和歌山県南部の地震

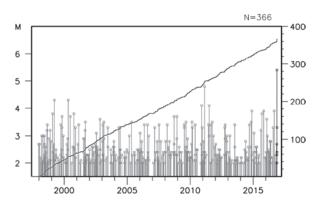
震央分布図 (1997年10月1日~2016年11月30日、 深さ20~100km、M≥2.0) 2016年11月以降の地震を濃く表示



領域 a 内の断面図(A-B投影)



領域 b 内のM-T図及び回数積算図

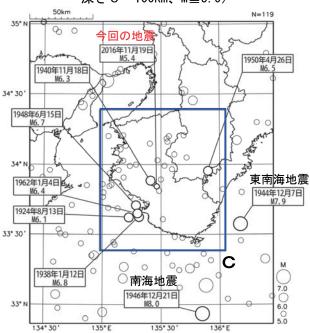


2016 年 11 月 19 日 11 時 48 分に和歌山県南部の深さ 51km で M5.4 の地震(最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が東北東一西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域 b)では、M4程度の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今まで発生していなかった。

1923 年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域 c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。そのうち最大規模の地震は1938 年1月12日に発生したM6.8の地震で、この地震により和歌山県日高郡・西牟婁郡などの沿岸地方で土塀の崩壊・家屋の小破、道路の小亀裂などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図 (1923 年 1 月 1 日~2016 年 11 月 30 日、 深さ O~100km、M≥5.0)



領域c内のM-T図

